

畜産・酪農に関する越年対策の十分な確保についての申し入れ

平成二十一年十二月十一日

自由民主党政務調査会

農 林 部 会

畜産・酪農対策小委員会

我が国畜産・酪農をめぐる情勢は消費の低迷、需給バランスの崩れ等から生産者価格が下落し、資金の融通等、年越しを控え、不安な毎日を余儀なくされている。

このため、政府は二十一年度当初予算、さらにわが党が編成した二十一年度補正予算の着実な事業執行を図るとともに、今般措置される予定の二十一年度第二次補正予算を併せて、左記事項の強力な実施を図られるよう、強く申し入れる。

記

一、子牛価格については、肉用子牛価格が若干回復の兆しをみせているが、依然、下げ基調で推移し、生産コストを賄えないぎりぎりのところなので、子牛対策を強化すること。

二、肥育経営については、A5ランク及び上級部位において下落傾向が続いているので、今後さらに経営安定対策を強化すること。また、消費拡大対策の推進を図ること。

三、豚肉関係では依然として価格が下落し、消費も低迷していることから調整保管を含めた支援対策を強化し、多くの県で基金が底を突く状態になっていることから基金の積み増しを図ること。

四、酪農関係では昨年十月の乳価対策により下支え効果はみられるものの、依然厳しい環境にあるので、消費拡大対策等をしつかり行うこと。

五、肥育、酪農、養豚など畜産酪農全体が資金繰りに窮しているため、越年対策を強力に行うこと。

六、事業仕分けの結論が出ているが、ALIC（農畜産業振興機構）の活用による今後の畜産酪農対策に支障が出ないようにすること。